

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		選挙管理委員会の運営			款	2	項	3	目	1	事業	1	整理番号	46		
担当部課名		選挙管理委員会事務局			係名				連絡先電話番号	3803			昨年度整理番号	536 枝番号		
上位施策No・施策名		73 政治意識の高揚と政治参加の促進			予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	22	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等		(1) 地方自治法第181条～第194条								
	選挙管理委員会、選挙管理委員会連合会、選挙人名簿登録者、選挙管理委員、選挙管理委員会事務局職員							(2) 公職選挙法								
	事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）					活動指標名(式)										
区の執行機関として、明るく公正な選挙及び関係法令に基づく適正な選挙の管理・執行を図る。投・開票環境の整備と向上を図る。					(1) 定例会開催日数							(2) 在外選挙人名簿登録者処理件数				
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
4人の委員で構成される合議制の執行機関である選挙管理委員会の運営 委員会の会議は、定例会と臨時会があり、定例会は週1回開催される。 定例会では、選挙人名簿の登録、在外選挙人名簿の登録、選挙執行計画等が決定される。 委員に対し、条例により、報酬及び費用弁償を支給する。					成果指標名(1)		予算執行率(代)									
					算定式・指標の説明等											
					成果指標名(2)		在外選挙人名簿登録事務委託金収入率(対予算)(代)									
					算定式・指標の説明等											
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績									
指標	活動指標(1)		回	37	45	39	45	32	45	45	71.1	71.1				
	活動指標(2)		人	317	300	395	350	304	350	250	121.6	86.9				
	成果指標(1)		%	92	100	93	100	96	100	100	96.2	96.2				
	成果指標(2)		%	142	100	144	100	107	100	100	106.6	106.6				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	15,102	16,665	15,552	17,955	17,266	23,326	20年度予算執行率% 96.2						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 国からの補助金等 20年度:裁判員候補者選定用システム改修委託費 21年度:投票人名簿調製事務委託金						
	(内)委託費		千円	63	63	63	2,331	2,239	4,507							
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.00 0.00	4.33 0.00	4.33 0.00	4.33 0.00	7.00 0.00	5.50 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	27,180	39,576	39,576	39,187	63,350	49,775						
		(内)非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費 + +		千円	42,282	56,241	55,128	57,142	80,616	73,101							
	単位あたりコスト (-)÷		円	1,142,757	1,249,800	1,413,538	1,269,822	2,519,250	1,624,467							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0									
		国からの補助金等		千円	490	407	585	708	708	5,118						
		都からの補助金等		千円				465	495	468						
その他の補助金等		千円														
特定財源計 + + +		千円	490	407	585	1,173	1,203	5,586								
差引:一般財源 -		千円	41,792	55,834	54,543	55,969	79,413	67,515								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 46

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		委員報酬(細)	4	人
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	委員費用弁償(細)	4	人	292
	全国市区選挙管理委員会連合会等経費(細)			214
	管理事務費(細)			3,835
	その他(旅費、交際費)			156
(2)事業実績	定期的に委員会を開催し、選挙人名簿の登録決定のほか、選挙における課題等について協議することにより、登録者の増加に伴う選挙区の分割など、投票環境の整備を図ることができました。また、平成21年より裁判員制度が施行されるため、平成20年度は裁判員候補者予定者名簿の調製手続き事務を構築しました。選定には、裁判所より配布された「名簿調製支援プログラム」を使用し、杉並区では選挙人名簿に登録されている者の中から1780人を選定しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	今後の予測
	期日前投票制度の開始等により投票環境が向上しました。また、平成19年には期日前投票所を1ヶ所増設し、全14ヶ所とし、さらに選挙人の利便を図っています。在外選挙人名簿調製事務については、平成18年の在外選挙制度の改正により、さらに関心が高まり、現在の杉並区での登録者数は約1,600名になりました。(23区で2番目)	近年、選挙人名簿登録者数の増加により、一部の投票所において、選挙人から投票受付に長蛇の列ができて待たされ、不便である等の声がある。	多様化するニーズに合わせた更なる制度の改正が予想され、迅速な対応が求められていくと感じます。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	選挙管理委員会は公正な選挙を行うための執行機関であり、適正な運営は必要不可欠である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	公正な選挙の管理・執行の実現は、法令に基づき行われるものであり、成果を向上させる性質のものではない。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	選挙管理委員会運営において、また、選挙人名簿登録等、法律上当然に行う事務であり、受益者負担は存在しない。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	委員の報酬・費用弁償等、必要経費は固定的である。また、本事業は公正な選挙を実現するために選挙管理委員会事務局として必要な一般管理を行っているものであり、大幅なコスト削減の余地はない。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(4)へ	(2) 協働等の相手
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方 行政直轄

評価と課題	内容
	定例会時に議題に関する承認・決定のほか、区内における選挙執行にあたっての課題について話し合い、選挙人名簿登録者数が増えた投票区の区域を分割し、新たな投票区を設けることになりました。また、出入口に段差のある投票所のバリアフリー化を再点検しました。その効果・評価は次年度の選挙執行で現れると思います。今後も、委員会の中で優しい投票環境の整備や開票事務の効率化などを課題として検討を行っていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	統合内部情報システムの活用により事務の効率化を図ってきましたが、独立行政委員会であるため電算化できない事務もあります。そこで、電算化できない事務については事務処理を見直し、さらなる効率化に取り組むことができました。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 よりいっそう事務の効率化に取り組めます。しかし、事務処理の手順等を見直すことで、改善できる点もあります。							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	選挙時と通常時の事務量の差が大きく、人員配置も変わるため、継続的に改善することが困難です。							
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	選挙管理委員会運営に必要な経費であり、これまでも経費節減に努め、適正な予算執行を行っています。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	選挙に関する常時啓発活動			款	2	項	3	目	2	事業	1	整理番号	47			
担当部課名	選挙管理委員会事務局			係名				連絡先電話番号	3804			昨年度整理番号	537	枝番号	1	
上位施策No・施策名	73 政治意識の高揚と政治参加の促進							予算事業区分								
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	21年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			主に区内在住の一般有権者			根拠法令等	(1) 公職選挙法第6条・第261条の2 (2) 公職選挙法施行令第133条～137条							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	明るい選挙の推進と政治意識の高揚を図る 投票率の向上						活動指標名(式)	(1) 話しあいの会参加延べ人数 (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	常時、選挙人の政治意識の向上に努めるため、明るい選挙推進委員による「話しあいの会」等の啓発事業を行う。 誕生月にあわせて新成人に「バースデイカード」を送り、お祝いを述べるとともに、選挙の種類、年代別投票率などの資料と「投票立会人」の募集案内も同封し、若年層に対する選挙啓発を行う。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1)	明るい選挙推進委員が開催する話しあいの会の延開催数				算定式・指標の説明等	成果指標名(2)	ポスターコンクール応募作品数
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度						
指標	活動指標(1)	名	2,376	5,000	2,606	3,500	1,713	3,500	3,500	3,500	48.9	48.9				
	活動指標(2)															
	成果指標(1)	回	106	300	106	300	78	300	300	300	26.0	26.0				
	成果指標(2)	点	311	350	241	400	257	400	400	400	64.3	64.3				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,904	4,197	3,407	3,432	2,902	4,167	20年度予算執行率%				84.6			
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0				特記事項							
	(内)委託費	千円	0	0	0	826	762	856								
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.80 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00	1.80 0.00	1.50 0.00	1.50 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	16,308	13,710	13,710	13,575	16,290	13,575							
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +	千円	19,212	17,907	17,117	17,007	19,192	17,742								
	単位あたりコスト (-)÷	円	8,086	3,581	6,568	4,859	11,204	5,069								
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	千円	/	/	/	/	/	/							
		その他の補助金等	千円	/	/	/	/	/	/							
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源 -		千円	19,212	17,907	17,117	17,007	19,192	17,742								
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 47

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)	
		(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	新成人啓発(細)	4782	人
		話しあいの会等推進委員謝礼	165	回	363
		ポスターコンクール(細)	257	点	107
		その他(啓発紙の発行、協議会運営ほか)			1,190
(2)事業実績	平成20年4月の改選により、20名の新しいメンバーを含む113名の明るい選挙推進委員を委嘱しました。推進委員が、日常の様々な機会を捉えて、選挙や政治に関する関心を高めるために開催した「話しあいの会」は、年間で78回開催され延1,713名の区民の皆さんが参加されました。また、新成人へのバースデイカードに同封した「投票立会人」の募集については、「これを機会に積極的に選挙に関わっていきたい」の思いとともに36名から応募がありました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	当初は区民の生活と政治及び選挙の関わりや仕組み等、明るい選挙の理解を深め実現していくことであったが、現在では、政治や選挙に対する意識の高揚を中心とし、特に若年層の投票率の向上に力を入れ活動している。区議会議員選挙における20歳代投票率 H7 18.16%、H11 20.25%、H15 18.77%、H19 20.46%
今後の予測	近年の低投票率の背景には、若年層の選挙への無関心さなどが指摘されるが、今後もこの状況は続くと思われる。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	区民の意思が政治に反映され、住み良いまちづくりへとつながっていく。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	特に若年層の政治への無関心が顕著となっており、政治意識を醸成する取り組みを有権者のみならず、未成年者へも拡大して行う必要がある。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	本事業の実施に伴う直接的な受益者負担が発生しないため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	もともと明るい選挙推進活動は、民間ボランティアによる活動である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題
「選挙啓発」は公職選挙法で定められ、その推進役として、明るい選挙推進運動と推進委員がいます。20年度に新たに委嘱された明るい選挙推進委員により、前年比では減ですが、年間80回近い「話しあいの会」を設けていただきました。また、新成人36名からは「投票立会人希望」があり、次年度の選挙時においてお願いすることとなります。今後は、委員同士の交流の機会の提供や、若年層向けの啓発の推進に工夫をこらしながら取り組んでいきます。

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	● 現状維持	○ 減	コスト:	○ 増	● 現状維持	○ 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	啓発活動の一部に学生の活用を考えたが、臨時職員雇用事務と経費の増、当日キャンセルに備えた人員配置、試験日程との関係などにより実現に至らなかった。ポスターコンクールの出品用の画用紙の配付については好評であった。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 選挙や政治に対する意識高揚を図り投票率の向上につなげていくためには、20歳前後の旬な年齢層の活用が重要である。投票立会人を希望する者の中にはしっかりと意見を持っている者もいるので、投票立会人に限らず啓発事業にも協力してもらえないものか、検証してみたい。							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	啓発活動を通して、目には見えないが、選挙や政治に対する意識の向上を図りたいと考えるが、得るものが形になっていないと若年層は魅力を感じにくいかもしれない。意見を聞く機会がなかなかあればそれを活用してみたい。							
22年度方針	(1) 22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2) 理由	現状の中で創意工夫を重ね、今やっていることを最大限に生かし実績を上げていく。							